

## 伊利 元(いり はじめ)先生のプロフィール

●勤務先 坂戸西診療所

●経歴 昭和57年 群馬大学医学部卒業。同第三内科で血液学を中心に研修を受けました。

国立療養所西群馬病院、松井田病院、碓氷病院等で内科医として勤務。

平成5年1月 坂戸西診療所開設

平成3年4月 医療法人大元気会 坂戸西診療所院長

●専門 内科、アレルギー



### ◆先生が初めて漢方と出会われたのはいつ頃ですか

以前から東洋医学には関心がありました。平成5年に開業して、いろいろな患者さんへの対応に西洋医学だけでは限界があると感じました。

一般診療の他に漢方治療を取り入れ、矢追インパクト療法とナチュラル・ハイジーンの考え方も取り入れて、予防に力を入れるとともに、生活の質を高めるような治療を心がけています。

幸いご高名な先生方がお近くにいらっしゃるのので、種々のセミナーに参加し、勉強を続けています。

### ◆先生の御専門で漢方はどのような効果を発揮していますか

アレルギー疾患を初めとする慢性病に対し、必要に応じて使用しています。その他、感冒、更年期障害等の不定愁訴などに対し有効です。

### ◆普段の治療で漢方薬と西洋薬との割合はどれくらいですか

全体の2割から3割ぐらいと思われます。(花粉の時期はもっと増えます。)

### ◆10年後の漢方医療はどうなっている(またはどうあってほしい)とお考えですか

物質中心の現在の西洋医学が、より高いレベルに達し、漢方医学をも共通の基盤から見るができるようにならないかと思っています。良質な生薬の供給が十分に続くことを願っています。

### ◆先生ご自身漢方を飲んで効果を実感なされたことがありますか

普段から病気になるような生活を心がけており、ほとんど薬を使うことはありませんが、具合の悪い時は、漢方薬を使い、直に改善しています。

◆これから漢方医を志す方に一言お願いします

医師は、新しく学んだことを直ぐに実践に移すことができる稀な職業です。

日本では、西洋医学を学びつつ漢方も実践できる大変恵まれた環境にあります。それだけに責任が重いとも言えますが、治療の手段を多くもてることは大変良いことです。大事に守り、発展させていくように努めたいと思います。

◆漢方に関心のある一般の方に一言お願いします

保険診療で漢方治療を受けられるのはありがたいことです。この恵まれた状態が続くよう、更なるご理解とご支援をお願いしたいと思います。

処方箋



◆座右の銘、好きな言葉などありましたら教えてください

「幸福も健康も成功も、他にあるんじゃない。あなた方自身のなかにあるんだよ。」(中村天風)

「天上大風」(良寛)

◆その他、ご意見ご感想などありましたらお聞かせ下さい

私は、癌やアレルギーの発症にも生活習慣の要素が大きいと考えています。誰でも自然の法則に従って生活できれば、様々な病気に煩わされずに生きられると思います。

その点、現在一般の健康常識の多くは、間違っています。いろいろと健康補助食品等に手を伸ばす前に自らの生活を見直すべきでしょう。

どういう健康状態を得られるかは、その人の人生に対する考え方と生活習慣によります。多くの素晴らしい先生方にご指導を受けることが出来ることに感謝しています。

また、世界的な大激動の中、平和な日本に生をうけ、新しい科学的発見や隠されていた歴史的事実を知ることが出来るのは素晴らしいことです。



注意:先生へのインタビューは、当会が2008年10月に行った内容です。